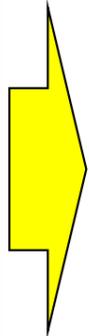
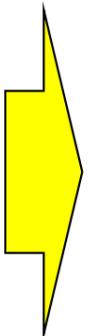


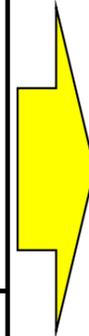
| | 未来予測(各データから見てきたもの) | 第1回市民会議(6/19) |
|-----|---|--|
| | 機会(チャンス) | 脅威(ピンチ) |
| 人口 | ・人口減少に伴う都市機能の集約化 | ・外から人が入ってこない ・若い世代が増えない ・結婚により、焼津市に住まず他市に流出してしまうケースが多い ・若い人が市外へ出てしまう |
| 産業 | ・介護、医療系の仕事が増える(新たな働き場所が増える) ・ロボットの代替により、人手不足をまかなうことができる ・空き家(店舗)を利用した新たな事業や活用で、地域の活性化が期待できる ・とまとびあのような所を知ってもらおう増やす → ボランティアではなく多少の給料を・・・ → 子供を預ける上での不安解消 ※ボランティア → あまくだり → 不公平では？ ・企業を誘致するチャンス ・焼津市の長である「中野市長」に改革の意識が高い | ・駅中心に発展していない ・核となる場、物が無い ・漁業の街。お魚のイメージが強く、他に何も思いつかない ・公共交通機関が衰退してしまうのではないかと ・産業が発展しない |
| 財政 | ・焼津市への「ふるさと納税」の額が高く、税金を活用できる ・漁業の街。ふるさと納税のお礼品 ・焼津市の長である「中野市長」に改革の意識が高い ・病院までの交通機関の増加 | ・年配者の1人暮らしが増え、通常の暮らしはもとより、災害時の対応はどうか ・市役所の電気が夜遅くまで付いている ・税金が減る ・市内の公共施設が今までのように更新・維持できず、身近な公共施設が減るのではないかと ・人口減少の反面、公共施設の維持管理の増。財源の確保、施設集約の選択 |
| その他 | ・海あり、山あり、自然豊かな町です ・「焼津」をなんとかしなければと考えている人が多い ・県外での「焼津」認知度は高い ・ふるさと納税の納税件数から、思っている以上のブランド力が焼津市にはあるかも？ ・高齢者とのつながりが増える ・助け合いが増える ・生活保護受給者の増加より、低所得世帯の生活弱者へのやさしい社会が実現する ・防災意識が高まり、地域住民の結束力の高まりに期待できる ・治安が安定 ・病院までの交通機関の増加 | ・年配者の一人暮らしが増え、通常の暮らしはもとより、災害時の対応はどうか ・空き家の増加による周辺環境 ・人口の流出により、空き家が増え、火事などが起きたり事件の温床になり得るのではないかと ・震災時、浄化槽だけの場合衛生面で大丈夫か？ ・地震の怖さ → 情報が少ない 東日本・熊本の時の情報を得る ・災害時の危険性や犯罪の増加につながるのではないかと ・高齢者世帯の増加にともなう地域コミュニケーションの低下と高齢者の孤立 ・介護を受ける人が増えて、病院・施設・介護をする人が更に足りなくなるのではないかと ・高齢者の増加、核家族の増加に伴い、避難が難しくなるのではないかと ・認知症患者が増えることで、介護のために仕事をやめざるを得ない人が増えるのではないかと ・1人暮らしが増えることで、今までの自治会運営が成り立たなくなるのではないかと ・町に活気がなくなるのではないかと ・固定観念から抜け出せない ・病院へ通院される方の増加 ・親子連れ、子供達など楽しめる施設、公園などが少ない |



| | まちづくりの課題 | 第3回市民会議(7/31)、第4回市民会議(8/21) |
|--------------|---|--|
| | 強み(良いところ、誇れるところ) | 弱み(もっと改善したら良くなる) |
| ①地勢・自然 | ・山、海があり富士山も見える ・海(自然)、立地 ・コンパクトなまち | |
| ②土地利用 | ・港湾整備による漁業の町焼津を発信できる ・中心となる核がない分、自由な発想ができる | ・都市計画を含めたまちづくりが必要(商業施設等) ・企業誘致が必要(税収確保) → 工業団地 |
| ③道路 | | ・道路整備 ・交通事故が多い |
| ④産業 | ・魚河岸シャツを含めた地域特産品 ・魚がしブランド ・「焼津市」ブランド力 ・漁業の街としてのブランド力 ・「さかなのまち」という全国的な印象、ブランド力 ・「焼津市」としての知名度が高い ・知名度がある ・魚がおいしい ・何だかんだ魚のまち(水揚げ量・金額共に全国2位) ・水産物が豊富でその加工品にも特徴がある ・漁業、水産加工品 ・元気な高齢者が活躍できる職場がある | ・魚の魅力を活かしていない(おいしい魚の店 少、地元では魚のイメージ 悪) ・「さかなのまち」というイメージの活かし方 ・市のアピール ・「漁業の街」を活かした集客対策が必要 ・発想の転換が必要 ・観光地が少ない ・駅周辺に若者が行きたくなる店(例:居酒屋)が少ない ・魅力あるお店が少ない ・中心(核)となる場所がない ・もっと駅周辺にコインパーキングを設置するよう働きかけてほしい ・市役所南側を商店街と呼び、中心地にするのは間違い ・駅周辺の再開発がされている (・静岡市のベッタタウン ・駅近物件を新婚夫婦へ優遇 ・観光者向け商店(お客回転寿司・・・食べ歩きチケット、立ち食い)) ・テーマパーク、映画館 ・店舗を増やす ・若い人に魅力ある職場が少ない ・小中学生ワークショップ解析より もっと良くしたいところ・・・きたない、きれいに どんなまちにすれば良いか・・・きれいに、活気のあるまち →子ども達が自慢のできる焼津を目指す！ |
| ⑤人口 | ・子供の医療費が(15歳まで)基本無料 ・焼津への転入者の補助金事業により、転入人口を助けている ・周辺都市に比べ、不動産価格が低い(ベッタタウン化) | ・人口減少があらゆる街の衰退を招く ・年配者の増加、若者の減少 → 年配者の一人暮らしの増加 ・学生との交流 ・子供の学校の地区編成の見直し |
| ⑥市民意識 | ・ウェルシップの存在。福祉関係の相談場所が表面化し、利用しやすくなった ・焼津を何とかしなければと考えている人が多い ・地域のコミュニティが活発 | ・地域の活動と住民の年齢(志向)がアンマッチ → 参加者が減少し、交流の場となっていない ・地域での若者、高齢者とのつながり ・海をきれいに |
| ⑦公共施設・行政サービス | ・故郷納税増加 ・ふるさと納税が全国2位 | ・地震への対策の具体化 ・津波の対策周知が低い ・実践的な避難訓練の実施ができていない(地震が発生しても命が助かることが分かり、安心して生活できるように) ・焼津と大井川がいまひとつかみあっていない気がする ・まちづくりのターゲットの優先順位(観光？市民？) ・認知症の方や高齢者が増え、対策が必要になる ・遊べる場所、公園などが少ない |
| ⑧治安 | | |
| ⑨歴史・文化 | ・東海一の荒まつり ・お祭り、花火大会 歴史がある ・市の踊り「みなと群舞」がある。踊夏祭 | |



| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|--|
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ・(子どもの医療費が15歳まで無料)他市がわからないが、より勝るようならアピールが必要! ・子どものための支援。医療費無料をもっとアピール ・ウェルシップ利用方法不明(身近でないとうわらない) ・近隣市との差別化 <ul style="list-style-type: none"> …福祉 …子育て |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ・不動産価格が低い(ベットタウン化) → 静岡に近いという好条件をアピール ・魚の水揚げを主体とした港、観光を主体とした港と区分を明確にした港湾整備と、さかなセンターの移転など、近郊開発 ・(駅周辺の再開発)人の集まりが小川から大富周辺となっており、駅周辺の見直しと活性化対策を立てる ・(人口減少、若者の減少)住みたくなるようなまちづくりの土台を作成する ・観光拠点が点在 → レンタサイクル、サイクリングロードの充実 <ul style="list-style-type: none"> …海、景色、平地の活用 …休憩所、お食事処、駄菓子屋風焼津おでん等 ・駅舎の建て替え、再開発を行う |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校によって人数のバラつきがある ・学校の設備充実(パソコン等) ・学童の預かり(小3まで) … 多すぎるので、学校によってかたより ・小学校と学童の連携が取れていない |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光地の整備、集約 ・さかなセンター、港、海をつなぐ ・(漁業の街としてのブランド力)港に人を呼び込む為に、さかなセンターをアクアス近辺に! ・地産地消の推進(飲食店等) ・市内の景観、ベストスポットのアピール ・「焼津」「さかなのまち」のブランド力 → 港で捌く、焼く、揚げるのサービス ・さかなセンター移転を含めた、「さかなのまち」の再構築 ・現在行っている焼津独自のブランド力のアピールの周知と広告 ・SNSの利用 |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内、市外へ焼津の歴史・文化・自然をもっとアピールする ・公園…東屋の設置(過ごしやすい環境づくり) ・看板の利用 <ul style="list-style-type: none"> …地震対策 → 海拔0m… もっと具体的に ・大人から子どもが気軽に立ち寄れる公園の整備 ・街や海のごみ拾いキャンペーン(行動する) |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・やいちゃんを国民的キャラにする ・「焼津」「さかなのまち」のブランド力 → しゃべるやいちゃんPR(しかも焼津弁) <ul style="list-style-type: none"> …口数は少ないですが、実はしゃべるんです ・広告宣伝費に金をかける ・ふるさと納税に継続して力を入れていながら、財源の有効活用 ・若者に魅力的な企業、雇用先の誘致 ・地震対策を充実させ、企業誘致を推進する ・町内、地区、市規模のコミュニティや交流の場(イベントなど)を増やす ・大型店舗の誘致と市街地再開発。行政の強力な指導力を望む ・定期的な焼津市独自の避難訓練を行う(学生と一緒に) ・地震対策、津波対策のアピール ・津波、地震への不安 → 津波避難棟の標識設置 <ul style="list-style-type: none"> …市民への意識づけ、速やかな避難の実現 …他地域の方や観光客への対策実践のPR → 移住促進 ・「津波はこない」ではなく、津波対策は万全だとのアピールと、目に見える対策の強化 ・(地震、津波への対策と避難訓練)より有効的な訓練とするよう見直しが必要 |



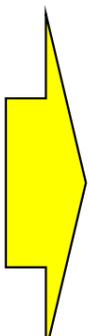
| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | |
|-------------------------|---|
| 子育て | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が公園であそんでいる ・子ども連れの家族が出かけている ・子どもがお年寄り(障がい者)と楽しく話している ・子どもを持つ親は公園が少ないと感じている ・子どもがお年寄りと交流している ・小学生を持つ親は学童の充実を願っている ・焼津市が子育てをしやすい街になっている ・教育の質が上がり、子ども達の学力が向上している(塾費用がうく) |
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が元気に働きながら過ごしている ・お年寄りが子どもを見守っている |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が汚い街、暗い街と思っている → 綺麗な街、活気ある町を目指している → 子ども達が自慢できる焼津に変身している ・海が好きになっている ・みんなが海上花火大会を毎年楽しみにしている ・海、山、川の自然があふれている ・焼津の景観は富士山が見えすばらしいと感じている ・市街のゴミが減り、明るい活気がある街になっている ・市民がきれいな山や海で遊んでいる ・車のない人が病院や買い物に不自由せず行くことができる |
| 産業(港)(駅前) | <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市の水産物(加工品)が市内で“バカうけ”している ・港の周辺がにぎわっている ・焼津港、大井川港が人でにぎわっている ・駅、港が観光客でにぎわっている ・駅周辺の店の方々は駅周辺の活性化を願っている ・夜の駅に酔っ払いがあふれている |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・市外に出た若者が焼津に戻りたくなっている ・焼津市がベットタウン化して人口が増加している ・市外に出た若者が焼津に戻りたくなっている |
| 若者 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域活動に参加している ・子どもが地域の一員であると感じている |
| 雇用 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民(若者)がインターンして生き生きと働いている ・若い世代が働きたいと思える企業があり、生き生きと働いている ・働く場所が増えている |
| 防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民が地震の発生に対し安心している ・市民が家族、地域で地震(津波)についてよく話している |
| PR | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が市外で焼津市を自慢している(PR) ・市外の方が引っ越しして焼津市に住みたいと思ってくれる ・市民が焼津市は良いところだとPRしている ・水産業に携わる人達は「魚の町焼津」のイメージアップを願っている ・新鮮な魚がおいしいと感じている ・市民が遠くから来た友達に市内のおすすめ観光名所、飲食店を案内できる ・海岸、または浜がにぎわっている |
| 住み続けたい焼津 | <ul style="list-style-type: none"> ・私はずっと焼津に住み続けたいと思っている ・住民同士がお互い寄り添っている ・公共施設が集約され、市民の利便性があがる ・市民が知人に焼津への移住をすすめている ・安心して死ぬ |
| 健康 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康で長生きしている |

第6次焼津市総合計画策定市民会議 検討事項まとめ【2班】 1/2

| | 未来予測(各データから見てきたもの) | 第1回市民会議(6/19) |
|-----|--|---|
| | 機会(チャンス) | 脅威(ピンチ) |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・今、介護予防に力を入れている。今後、健康な高齢者が増えていけば、例えば介護施設に入所されている方の話し相手になってくれたり、人生経験を活かして子育てに悩む両親のアドバイザーとか、社会との関わりが持てるかな、と ・働く期間が長いので、昇進することができる ・増加している空き家を人の住める状態にして、家賃を安めに設定すれば若者(新婚さん)が住みやすくなるのではないか | <ul style="list-style-type: none"> ・少子化につながる ・海沿いの空洞化。人口減少 ・高齢化、人口減少により空き家が多くなり、犯罪が増加する ・西小川、東小川など人口密集地が高齢化を迎え、いずれ空き家が増えていく ・バス利用者の減 → 路線短縮や廃線の危惧、自動車を運転しない高齢者の足(外出機会の確保)が難しくなる 外出しない → とじこもりがち → 要介護状態へ ・働き口が少ない → 人口流出 ・人口減少、高齢化により、伝統的な水産関連企業が伝承できず、減少する(継承できず…) ・物の売れる量が減る |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・新港を利用した水上交通(フェリー等)により、人々が集まる ・新スマートICが出来た事により、新たな企業進出が期待できる ・土地はたくさんある。企業誘致を積極的に ・ふるさと納税制度 焼津は全国2位。静岡市と共同で首都圏に特産品PRのアンテナショップを開設 → 全国に焼津ブランドの認知度がより広がる ・豊富な援助金があると、新聞に掲載されていたが、上手に使うことで何か出来ると思う(企業の誘致とか? 大学があれば…) ・国の労働力が上がり、女性の意見が反映される ・若い世代が「売れる物やもうかる体制」を真剣に考えるきっかけになる(かも) | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化により、伝統的な水産関連企業が伝承できず、減少する(継承できず…) ・働き口が少ない → 人口流出 ・物の売れる量が減る ・4時間以上運転をする場合、運転手を交替しなければならなくなり、茨城・栃木・福島が日帰り圏ではなくなった ・給与が低いまま ・「稼ぐ力」としての漁業は高いレベルにあるが、それが雇用につながっていない |
| 財政 | | <ul style="list-style-type: none"> ・税、保険料の負担が増える ・歳出における扶助費の割合の急激な増。扶助費のうちの生活保護費の増加 ・医療費の増。生活習慣病により死亡する方の割合が県内でも高い → 保険料・支払う医療費が高くなり、家計を圧迫させる ・手続きの時間が平日で限られている ・国の税収が減る |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども1人に対する教育費用が上がる ・みなとマラソンで大学が集まる街 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化により、年平均気温が上昇 農業被害、品質の悪い米の割合が高まる、高草山のミカンの品質低下 集中豪雨が増え、浸水などの被害が増える 暑さが原因で、熱中症などによる死者数が増える ・働く女性が増えるため、待機児童が増加する ・子どもの遊ぶ場所が近くにない ・ピキニ事件 第5福竜丸の乗組員がこれから亡くなられていく。語り継ぐことができるか? 事件の風化が懸念される |

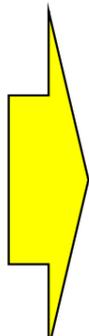


| | まちづくりの課題 | 第3回市民会議(7/31)、第4回市民会議(8/21) |
|-----------------|---|---|
| | 強み(良いところ、誇れるところ) | 弱み(もっと改善したら良くなること) |
| ①地勢・自然 | <ul style="list-style-type: none"> ・立地条件 東京と名古屋(大阪)の中間点 ・静岡に近い ・日本(本州)のほぼ中心に位置する ・田舎なのに便利 ・自然が多い ・高草山登山、満観峰登山(山歩きブーム) | <ul style="list-style-type: none"> ・津波に対するリスクが常にある ・津波の不安で若い世代がはなれる ・津波に対する安全宣言 ・高齢化で山が荒れている ・海や川が汚れている |
| ②土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートインター周辺の有効的な土地利用 ・平野のため、可住地率が高い ・釣りができる環境がある ・農業をする土地はある | <ul style="list-style-type: none"> ・土地の有効的な利用が遅れている ・観光客がさかなセンターに寄って帰ってしまう(周遊性がない) |
| ③道路 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便は良い | <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭い ・バスの空席が目立つ |
| ④産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの大きな港がある(水産物が豊富) ・企業が多くある ・さかなセンター ・魚がおいしい ・海の幸 ・魚類の色々な加工技術が多くある ・ふるさと納税…魚以外の産業が育つ ・工場(企業)を誘致できる ・特産物が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工業はほぼ下請け ・他県の“さかなの街”との区別があいまい ・商業地域が少ない(都市計画法・建築基準法的に見て) ・漁業しかない ・海(漁業)への固執 ・駅前の商業施設の充実度 ・元気なお年寄りの活躍の場が少ない ・農業の担い手が減っている |
| ⑤人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに安心 | <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園が高い(公立は利用しにくい) ・シルバー世代の動きがわからない ・総合病院が少ない ・空き家をリフォームする為の財源はどこにあるのか ・地元へのUターン就職へのアピール ・公園の遊具を増やしてほしい ・子どもが安全に遊べる場所が少ない ・小学生以上の子どもが健全に主体的に過ごせる場所がない ・障がい者の就労支援がない |
| ⑥市民意識 | <ul style="list-style-type: none"> ・人がいい!! ・スローで素朴 ・年齢の高い方が意欲的 ・子どもにやさしい ・良いコミュニティが存在 | <ul style="list-style-type: none"> ・パツとしない ・なんとなくしょぼい。なににもない感じ |
| ⑦公共施設 行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・広い公園がある ・大学がある | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントになる施設が少ない ・「中心地」と呼べるところがない ・市役所の場所 ・地びきあみ体験、バーベキューができる場所がほしい ・アクアスとディスカバリーが一体となっていればよかったのに… ・大学があるが活かせていない ・無料で楽しめる遊び場が思いつかない |
| ⑧治安 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいがいい!! | <ul style="list-style-type: none"> ・健全に遊べる場所がない |
| ⑨歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的なイベントが多い ・海沿いに昔ながらの生活文化があり、趣がある。さみしくならないようにしたい ・荒祭がある(小中高生も参加できる) | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事をうまく利用していない!! ・第五福竜丸が焼津にない |



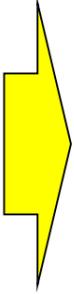
第6次焼津市総合計画策定市民会議 検討事項まとめ【2班】 2/2

| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|--|
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー世代がボランティアで地域に関われるようにする ・高齢者の活動が分かりやすいようPRする ・シルバー世代との連絡先が確立されていない(仕事の依頼) ・子どもを預けられる夏休みだけの施設をオープンさせては？ …フルタイムで働けない …会社を8月は休まなければならない ・公立幼稚園があると、安くて子どもを産みやすい。素朴で先生もベテランで安心。子育てしやすい(働けなくてもなんとかなる) ・高齢者が子育てを支援する仕組みをつくる |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が利用でき楽しめるよう、まちづくりのデザインを広い視野で考えること ・静岡、藤枝のベッドタウンとして住民を増やす。家賃を安くして ・津波の届かない場所を宅地化(青地を) |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・津波訓練で共通認識を高める ・訓練の様子を多くの市民に知ってもらう ・子育てをサポートする教育システムと人材登用の仕組みづくり ・子どもの教育と世話をしてもらえる施設が少ない(運動会等) |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでいろいろな検索結果が出る → まとめる ・商店街の途中に広場を設ける ・港の方に観光名所を作る ・自然が多いならではの環境を大切に、人が集まれる場所を作る(オクシズ、キャンプ場のような所) ・焼津球場をプロ野球の公式戦ができるように改修(陸上競技場も) ・漁港以外の港 → フェリー(焼津⇄南伊豆)、客船の寄港 ・企業の誘致に空き家を活用できるのでは？ ・自転車で移動しやすいまちづくり ・レンタサイクルの充実 ・企業家の育成(民間人の育成)…未成年から ・水揚げ港として伸ばす ・漁港の空き地にリゾートホテルを作る |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多いならではの環境を大切に、人が集まれる場所を作る(オクシズ、キャンプ場のような所) ・自転車で移動しやすいまちづくり ・レンタサイクルの充実 ・漁港の空き地にリゾートホテルを作る ・公園に噴水を作る等、子どもが遊べる環境を作る ・焼津を代表する景色を作る ・川をきれいにする為住民や行政でこまめに清掃活動 ・川を使ったイベントを開催したい |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・旧大井川の人達とのコミュニケーション不足 ・安全宣言をする。実行性と根拠のある地震・津波対策をつくる ・第五福竜丸を焼津に移す |



| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | | |
|-------------------------|---|--|
| 自然 | <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市民がルールを決め、自然との共存が円滑に出来る様になっている(遊んでOKな場所とNGな場所との区別がしっかりしている) ・子どもが水辺で楽しんでいる ・皆が自然に親しみ楽しんでいる ・港町焼津の景色が愛され守られている | |
| 観光 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が泊まって遊んで地元の人と楽しんでいる(地元の料理を居酒屋で飲み食いしている姿) ・市外、県外の人々が素敵と感じる景色や体験ができる所がある ・観光に来た人が、市内のどこでもレンタサイクルを借りられ、返せるようになっている ・焼津を知らない観光客が来て困らない観光ルートが出来ている | |
| 市民参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・市外の人に自慢できる市民サークル活動がある ・ハンデのある人でも自分に合う好きなイベントに参加できるようになっている(子どもがメインのイベント、高齢者がメインのイベント) ・異年齢の人が交流している | |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツチームを持つ企業が存在している ・商店街がにぎわい、人が集まる ・港が多目的に使用(活用)されている ・市内に働く場所が増えている ・焼津駅利用者が帰りに駅前のミニさかなセンターで買い物してから家路についでいる ・駅前に遊びや買い物に出かける | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・(働く場所が増えれば)人口が増えている ・ずっと焼津にいたいと思っている | |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て ・親が前向きに子育てを楽しんでいる ・皆が子育てをして支えている | |
| 遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・釣り人が海釣りをして遊んで帰れる施設がある ・親子がのびのびあそべる公園がある ・小中学生が親と一緒に楽しめる施設がある ・海釣り公園として整備がされ、誰でも気軽に釣りを楽しめる。商店も繁盛する ・(人口が増える) 税収が増えている | |
| 歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が焼津の歴史に興味を持っている | |
| 外国人 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の人も日本の人もコミュニケーションがとれている | |
| 福祉・環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが減っている ・(税収が増える) 福祉・環境が充実している ・焼津市民が意識してゴミを拾えるまちになっている | |
| | 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人もいきいきと暮らしている ・高齢者も地域で活躍している |
| | 障がい者 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方、ハンデのある方も、安心して自立した生活をおくれている |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが皆楽しく教育を受けている ・地域の人が部活動を指導している ・子どもが快適な環境で学校生活を過ごすことができる ・子供の学力が向上している | |
| 安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・人々の触れ合いができ、コミュニケーションがとれている ・市民が安全に自転車で走れる道がある ・沿岸部の人々が津波に備えてどう避難すべきかわかっている ・事故が少なくなっている ・親が働いている間、子どもが安全に過ごせる ・市民が地震・津波を恐れなくなっている | |

| | 未来予測(各データから見えてきたもの) | 第1回市民会議(6/19) |
|-----|---|---|
| | 機会(チャンス) | 脅威(ピンチ) |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> 企業と合同で出会いの場の創出 支援の手を必要としている親子がたくさんいる。相談できる場がたくさんあればとても安心できるし、もっと応援してくれる施設やコミュニケーションの場があれば、もっと良くなる 出生率 焼津市1.54 県全体 1.53 静岡市 1.40 上回る 藤枝市 1.44 子育て環境の充実 子育てするうえで、環境が良ければ2児・3児へとつながるのでは。焼津市として出生率がそれほど下がらないというのほとてもいいことで、それに見合った環境であるのではないかと。もっと子育て事業をPRしていいと思う お年寄りに子育てを支援してもらう 20～24歳世代の5年後の市内滞留率は高く、子育て予備世代が市内に多く留まっている。この世代をその後も市内に留める対策をすれば人口減少のスピードを緩やかにすることができるのでは 支援の充実 → 安心して子育てができる町づくり 共助についての意識が高まり、地域のコミュニティが活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 小学生児童数の減 → 活気がなくなる 若年層の流出によりまちの活気が失われる 子どもを育てる特別なメリットがない 若者人口が減り、活気がなくなる 部活動が減る → 選択肢が減る 車社会の為、交通インフラが整っていない事から転入者の増加が期待できない 消費が減る(人口減) 自治会活動の若者への負担増が心配される 介護が負担になる(高齢者増) ひとり暮らしの高齢者が増えるのは不安が多くなる 一方 空き家が増え、治安が悪くなる ひとり暮らし世帯の増加 地域コミュニティの機能が低下してしまう。 防犯・防災 住民同士の交流 学校の統廃合(?) |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家利用 宿泊施設として → 水産加工工業等見学・体験付 空き家ビジネスの創出 空き家を使ったビジネスチャンスができる ランドマーク的施設の充実 観光客が増えて、焼津の情報発信にもつながる 2つの河川の自然を活用 水揚げ量(またはなると生産等)を日本一(ナンバーワン戦略)にすることで、「魚のまち焼津」を全国的にアピールする 市内の農作物の直売所の売上が伸びて、エコにもつながる 地産地消が多く出来るようになる(人口減) 大井川焼津藤枝スマートIC開設による大井川地区の活性化が期待できる。(目玉施設の誘致などあれば) 首都圏に近い通勤圏内 仕事選びが多様になる(就業人口減) 良い企業が残る(就業人口減) 高齢者の新たな労働力の創出(子育て支援) 介護関係の仕事が増える(高齢者増) | <ul style="list-style-type: none"> 焼津IC利用台数の減少(H21に比べ4000台/日) → 経済活動の沈滞化 働く場所(学ぶ場所)が無いため、必然的に転出増加。有効求人等 雇用が難しくなる(就業人口減) |
| 財政 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の空いた教室の活用が期待できる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が増える → 生活保護費等による財政圧迫 人口が減る → 税収が減る 要支援、要介護者の増加に伴う医療費の増加 扶助費の増加、医療費の増加 要支援、要介護者の増加 財政悪化により行政サービスが充実できなくなる バス利用者の減少 補助金の増加 → 便数、運行時間の短縮 → バス利用者の減少(負のスパイラル) |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 健康に対する意識向上 環境改善と整備の一本化 焼津に親しみ、愛着を持つ若者の力を町づくりに活かすことができる。4割もいる ひとりでも安心して暮らしていける施設や、町のあり方を考えていくチャンス | <ul style="list-style-type: none"> 最近の様々な事件がある中、深夜に外を徘徊するのは危険。身の危険をもっと勉強させるべき 一時的な停滞感と人的な能力不足 住み続けたいと回答した約4割の学生は少ないかと。もう少し魅力のある町づくりをしなければ 地震の影響で海側に住む人が少なくなる 地震、津波で大きなダメージを受けるというイメージを持たれている |



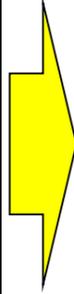
| | まちづくりの課題 | 第3回市民会議(7/31)、第4回市民会議(8/21) |
|--------------|---|--|
| | 強み(良いところ、誇れるところ) | 弱み(もっと改善したら良くなる) |
| 自然豊かな焼津 住み易い | <ul style="list-style-type: none"> 雪が降らない温暖な気候 海、山、川があつて近い 自然豊かな町 自然災害の被害が少ない 県庁所在地に近い 地域のつながり、日々の生活に対する安心感 子ども達が地元の資源(海、山などの自然環境や水産業、荒祭などの伝統)に愛着や誇りを持っている | |
| 土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> 温泉、さかな、富士山(観光資源) 景色が良い 景観 駿河湾と富士山...海岸線から、満観峰から | <ul style="list-style-type: none"> 空き家が増える |
| 漁業が盛ん | <ul style="list-style-type: none"> 漁業で有名 魚を好きな市民が多い 全国有数の水揚げ量を誇る漁業...美味しい物は人をよぶ。他市の人から見ると、魚は魅力のひとつ(しらす、かつおぶし、黒はんぺん、さくらえび...)。特産品も多い 漁業が盛んな町 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 災害に対しての危機管理 手厚い子ども医療助成 多くの試みをしていて考えている人材が居る事 市民全員の意識向上を促す方法の模索 | <ul style="list-style-type: none"> 国交省から空き家の助成をうまく利用できれば... ふるさと納税の閲覧がシンプル化と整理が必要 日常モラル、マナー意識の低下により、公共の場の清潔感が保てない ゴミが多い 川や海が汚れている |
| 駅前の土地利用 | | <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺が寂れている 駅周辺の街並 駅前の活性化 焼津駅周辺の空洞化...焼津には魅力ある材があるにもかかわらず駅前周辺の様子からは魅力を感じられない |
| 災害対策 | | <ul style="list-style-type: none"> 津波の危険性がある海の悪い印象 災害の不安 地震に対する不安 経験のないことには不安がついてまわる(市民以外の方が見方が厳しいのではないか) |
| 高齢者対策 | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が増える 認知症の予防対策が必要 |
| アピール不足 | | <ul style="list-style-type: none"> 広報や案内がもっと伝わるような工夫 |



第6次焼津市総合計画策定市民会議

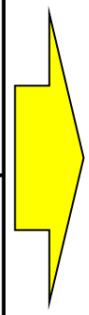
検討事項まとめ【3班】 2/2

| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|--|
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 魚を使って健康づくり 元気な高齢者を増やす → 地域で、自覚 健康意識の向上…家族の健康、焼津の健康を守ろう！！ 高齢化社会 → 生きがいを作る取組み …公民館で行われている自主活動等、場を保障する 食に関する資源(魚や野菜)と自然環境(海、山など)を「健康づくり」でつなげた取組みイベント(市の良さを関連させた取組み) |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> 公団の代わりに国の補助を利用した整備への取組み 駅周辺を活性化させる 海岸沿いの防潮堤をジョギングコースとしてPR 駅近辺の商業を活発にさせる(誘致、現状維持のための補助金) スマートIOを使って企業にアクセスの良さをPRし、ショッピングモールを建てる 駅前通りの一方通行の評価、改善 臨海地への集合施設化 高齢者も住みやすいまちづくり 口コミの活用(広報、案内) 駅前の再開発 |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> 大学、高校生を取り込んだ市での企画(専門学部の学校がある) ウォークラリー、トレジャーラリー、オリエンテーリング(大人、子どもに知ってもらい目的) …観光に適したところが多く在る 子どもや親子を対象にした「学ぶ場」を企画する …学校から地域へ 水産業、自然、ボランティア等 → 焼津の良さを伝える。人と人とのつながりを作る |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> お酒が有名。地酒PR 上手な宣伝と売り上げ効果の見込める製品の作成 魚をメインにした体験施設を造る 漁港に人を集める(さかなセンター) 豊かな自然、自然災害が少ない → 市民、観光客が楽しめる施設の充実 さかなセンターをリニューアルする。さかなセンターが目的地になる工夫 集客力の強い施設をつくる(商業) シングルマザーが住みやすいまちへ → 空き家ビジネス 空き家利用。空き家ビジネスへの創出 1日中楽しめる観光コースがあれば、宿泊してもらえる |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 清掃車両、清掃業者 → 人を配置、雇用する 汚れている場所をすぐ対応できるようにする きれいな海を守ろう！！ → 市民への呼びかけ、清掃活動 海、川をキレイにして、観光につなげる |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまちとして情報発信する 水族館をつくらう！ 観光PRイベント(観光資源) もっともっと魚をPRしよう みなとまつり(3つの漁港で祭りがあって盛況) 盛んな漁業 → 魚のまち焼津をもっと発信していく。アピール！！ |



| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | |
|-------------------------|--|
| 駅前 | <ul style="list-style-type: none"> 駅前にぎわっている 駅前にカフェがある(スタバ、ドール、タリーズ など) 駅前が人であふれている 駅前がきれいになっている 駅をみんなが利用している 駅前の商業ビルに多くの市民が集まっている(都市整備) 学生が駅前で楽しく時間を過ごしている |
| 高齢者の健康 | <ul style="list-style-type: none"> 健康なお年寄りが増えている 年寄りがイキイキしている 高齢者がいつまでも家族と一緒に楽しく暮らしている |
| 健康 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が自分の健康を気づかっている 市民の健康寿命が高まる 市民が施設を提供する事が出来れば、便利で生きていく為の選択肢が広がり、笑顔で毎日を過ごす事が出来る 市民一人一人が意識を共有する事が出来る場を提供する町があれば、安心して笑顔を作って生活できる |
| 地域のつながり | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が地域の為に働きたいと感じている お年寄りが地域の方とのつながりを感じている |
| 子どもが元気 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもがニコニコ笑顔になっている 子どもが伸び伸び遊んでいると親が感じられている |
| 子育て | <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代が地域のサポートを受けている 子どもが地域の一員であることを感じる |
| 親の愛 | <ul style="list-style-type: none"> 女性が子どもを産みたい、育てたいと感じている |
| 知名度 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が自分達の住む町を知る事によって、先の興味を持つ事が出来、また、人に伝える事が出来、成長している事を自覚する事で笑顔になる 市民が焼津のことをよく知っている 焼津市と聞いたらみんながイメージできている |
| 定住化 | <ul style="list-style-type: none"> 転入者が増え人口が維持されている 市外の人が焼津に住みたいと感じている 焼津市民が増えている 市外に出た若者が焼津に戻りたくなっている 市民が住みやすい(住みたい)と感じている 市民が住み続けたいと感じている |
| 焼津愛 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもからお年寄りまでが学びながら地域への愛着を深めている 市民が焼津市を愛している 市民が焼津について語っている 引っ越してきた人が、焼津愛を持ちたいと思っている |
| まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 多くの市民がまちづくりに参画している(焼津のことを知っている) 市民がみんなの意見が反映されている事が分かれば、人を信じ、周りに笑顔を振る舞う事が出来る 市民の笑顔が輝いている 市民が屋外で楽しく活動している 子どもが、大人が、夢を持っている |
| 美 | <ul style="list-style-type: none"> 焼津のまちがきれいになっている 市民が自主的にまちをきれいにしていく 市民が安心、きれいな町が自分達の場所という意識が生まれれば、毎日笑顔がたえない事が出来る 市のあらゆる所がきれいな状態になっている |
| 漁業 | <ul style="list-style-type: none"> 漁業が焼津を活性化している 市民が魚のスペシャリストになっている 焼津の魚をみんなが食べている 市民が焼津の特産物をいっぱい食べている 日本全国の人達が「焼津」の魚を知っている 魚が焼津をアピールしている 魚が市民の健康づくりに一役買っている |
| 産業活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客や焼津市民が笑顔で買い物袋を抱えている(産業) ららぽーとやいつかにぎわう 若い人が働きたい企業が増えている |
| 海 | <ul style="list-style-type: none"> 焼津の海が活気づいている 市民が焼津市の特産品を活かして食と観光にうまく取り組む事を考えた物があれば、多くの人に笑顔を作れる 観光客が増えている 観光客でにぎわっている 他地区の方が焼津に来たくなる(焼津の魚を食べたくなる) 海や川が観光客でにぎわっている 魅力的なイベントや施設が観光客を引き付けている たくさんの観光客が楽しんでいる きれいな海で遊んでいる |

| | 未来予測(各データから見てきたもの) | |
|-----|--|---|
| | 機会(チャンス) | 脅威(ピンチ) |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代、子育て世代への補助制度を拡大すれば、焼津市に住みたい人が増加するのではないか 国や県以上に焼津市独自の子育て世代への優遇政策があれば、人口減少に歯止めがかけられるのではない 医療機関が充実すれば、高齢者・子どもも安心して住め、人口増加につながるのではない 待機児童ゼロを達成してアピールすれば、市の人口増加につながるのではない 雇用力、稼ぐ力ともに高い産業を開発していけば、焼津市の魅力が高まり、人口増加につながるのではない | <ul style="list-style-type: none"> 社会的弱者の増加 地域活動の減少 障がい者増加により社会的不安が増え、人口流出につながる恐れがある 転出者増加により、焼津市に魅力を感じる人も減り、さらに転出者が増加するのではない 待機児童増、少子化 待機児童が増加すれば、若い子育て世代の市外流出につながるのではない 児童虐待数、補導数が増加していけば、社会不安が大きくなり人口流出につながるのではない 人口が減って高齢者が残っていく 2030年問題 若者1人が1人の高齢者の面倒を見る(負担増) 結婚、就労の動向 平均初婚年齢がアップすると、子供をつくる(恵まれる)機会(時間)が少なくなる 町内会等の運営が負担になる |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 稼ぐ力のある漁業で人材育成と雇用創出(設備投資・人員確保) ロボット技術が進むことで従事できる仕事の幅が広がる もっと漁業のまち焼津をアピールして雇用を生み出せば、市の活性化が期待できる 企業誘致すれば雇用が生まれ、新たな労働力の創出が期待できる 介護サービスの需要の増加による新たな労働力の創出が期待できる 求人が増え、時給が上がる 雇用力、稼ぐ力ともに高い産業を開発していけば、焼津市の魅力が高まり、人口増加につながるのではない | |
| 財政 | <ul style="list-style-type: none"> 市税、ふるさと納税で税収の増加が期待できる 魅力ある公共施設をつくっていけば、人口流出に歯止めをかけることができるのではない バス路線や本数を増加すれば、高齢者も利用でき、移動が便利になる | <ul style="list-style-type: none"> 医療費が増加すれば負担も増え、将来的不安を抱えて人口流出につながるのではない 医療費負担が増える 医療者、介護者の負担増 税収が減少し、公共サービスが低下するのではない 税収減少、税額増加 高齢化と人口減少による経済の衰退と税収の減少 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 教育支援員を増加すれば教育が充実し、若い子育て世代の転入も期待できるのではない 児童、生徒数の増加校と減少校のバランスをとり学区編成していけば、どの地域でも充実した教育が期待できる 子育て支援の充実 → 人口維持 児童、生徒数の推移(減少) 1人1人に合わせた授業、カリキュラムが組める 学校などで先生達の目が行き届きやすくなる 幅広い人間関係の学びになる (学校で)1クラスの人数が少なくなるので、きめ細かな指導ができる 若者に頼らず自分で何とかしようとする意識が高まる 高齢者の社会復帰 結婚、就労の動向 平均初婚年齢がアップすると、お互い落ち着いた家庭を築ける。1人の子どもに対して深い愛情を注げる スポーツが盛んな町なので、子供から大人まで一緒に出来るようなスポーツイベントをやったらどうか 健康づくりをアピールしたまちづくりを進めていけば、市の人口増加につながるのではない 健康への意識が高まる 防災組織構成率100%を生かしたコミュニティ活動の推進 バス路線や本数を増加すれば、高齢者でも利用でき、移動が便利になる 小さな地域のコミュニケーションに役立つ 市民に行き届いたサービスの実現 空き家を市が有効活用していけば、人口増加につながるのではない 駅前開発や商業娯楽施設を増加すれば、若者世代も魅力を感じるのではない 障がい者を受け入れる制度をつくれれば、市の人口増加につながるのではない 資源消費、廃棄物排出量が減る | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難やその後の生活に配慮が必要 災害への不安 若い力が不足となると、地域防災力の低下につながる 伝統芸能、伝統文化の継承が困難になる 市内が淋しく感じる。さびれた印象になる。不審火などの事故が起こりやすくなる 空き家の増加により犯罪や放火などの不安が広がり、人口流出につながるのではない 結婚、就労の動向 離婚数の割合(離婚/結婚)が増加すると、シングルマザー・ファザーが増えて、子供の情緒不安定、子供に対する愛情不足が生じる 高齢者のひとり暮らしの増加で、地域コミュニティの必要性がもっと高まるのではない 変わってゆく新しいルール(ゴミだし等)が理解しづらい 介護サービス需要に施設が追いつかず、高齢者介護問題が増加するのではない 高齢者が増える → 買い物等に利用する交通手段が少ないのではない 区画整理が進んで街が分散しているのでは? 個性に応じたきめ細かな子育て支援が必要になる |



| | まちづくりの課題 | |
|-------------|--|--|
| | 強み(良いところ、誇れるところ) | 弱み(もっと改善したら良くなる) |
| ①地勢・自然 | <ul style="list-style-type: none"> 東京と名古屋の中間にあり、通勤可能である 静岡市に近く、電車でも車でもすぐにいける 静岡市と隣接 自然豊か 大きな道路があり、車があれば交通がよい | <ul style="list-style-type: none"> 通学手当 |
| ②土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> 静岡に比較して地価が安い 空き家に借り手がつくケースが増えている 豊田方面は空き家が発生しにくい | <ul style="list-style-type: none"> 商業施設、公共施設がまとまっていない 駅前再開発や商業娯楽施設を充実させる必要 商店街にもっと元気が必要 市外に出ないと遊ぶ所がない 空き家が多い 防災に危険な空き家がみられる |
| ③道路 | | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関(バス) 高齢者の交通手段が少ない |
| ④産業 | <ul style="list-style-type: none"> 漁業がさかん 魚の街をアピールで、焼津を活気づける 田子重や富士屋には焼津産の魚がある(その日に獲れた魚が並ぶ) | <ul style="list-style-type: none"> カツオの消費が少ない 漁業に関わる人が少ない |
| ⑤人口 | | <ul style="list-style-type: none"> 他市町村からの転入促進(助成・税優遇) 子育て、産む環境の整備 |
| ⑥市民意識 | <ul style="list-style-type: none"> 地域力(近所で力を合わせる) 地域の行事でコミュニティが形成される ゴミ出しルールが守れる → コミュニティがしっかりしている 近所が仲良くなって支え合い | <ul style="list-style-type: none"> 排他的な面がある 女性、若者の声 芸術文化、伝統文化が市民がよくわかっていない コミュニティがしっかりしていると、外の人が入りにくい まちでの暮らしのルールが大変になる 空き家を活用するために地域の「受け入れる体制」づくりが必要 高齢者を近所で見守るシステムがほしい コミュニティが希薄だと、災害時など危険!! 地域の中で助けなければならない高齢者を確認したい |
| ⑦公共施設行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税34億円 ふるさと納税県内No.1 → 魅力あるまちづくりに ふるさと納税 市立病院周産期センターの確立 スポーツ大会 市民カレンダー | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難場所 災害対策が進んでいることをアピールする必要 市の職員は焼津市に住みましょう! 情報発信 介護保険、国保の負担が大きい 津波からどの程度の時間で逃げられるか確認したい |
| ⑧治安 | | |
| ⑨歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 古い町並みが残り、情緒や風情が残っている 芸術文化、伝統文化財が59ある 伝統産業 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の連携がしやすい | <ul style="list-style-type: none"> 駅のエレベーターが利用者にとって不便(つながっていないためホームから駅の外まで何度も移動が必要で、わかりづらい) 若者世代が住みたい場所として選ばない 焼津駅は障がい者が移動しやすいようにすべき まちが障がい者が生活しやすいように対応していない 焼津市が障がい者の方にとって住みやすいまちかどうかわからない 障がい者の方達との交流の機会がなかなかない |



第6次焼津市総合計画策定市民会議 検討事項まとめ【4班】 2/2

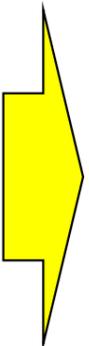
| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|--|
| 福祉 | ・優しいおじさん、お婆さんがいる。みんな親切にしてくれる → 地域のコミュニティの重要性を再認識しました |
| 都市基盤 | ・土地が安い → 静岡のベッタウン化を再考する → 耐震都市を目指す ・タクシー会社と連携して、病院・駅まで乗り合い ・子ども達が安心して遊べる場所、公園がない。公園もお年寄りの場になっていて使えない ・静岡から人を受け入れるための政策を強化(補助金や税の優遇) |
| 教育 | ・学校で過ごす子ども達の環境の改善 …夏の校舎の暑さ等、校舎の老朽化等、安全面が心配 ・子ども達が安心して遊べる場所、公園がない。公園もお年寄りの場になっていて使えない |
| 産業 | ・やいちゃんがかわいい → ゆるきやらグランプリへのエントリーを市民に周知して、市全体で応援できる雰囲気作りを ・水産加工品(かつお節、黒はんぺん、なると etc.)が有名 → 首都圏を中心にキャンペーンを実施する(アンテナショップ) ・カツオの消費量を増やすために、「鯉三昧」の様なイベントを増やす ・魚の街のPR、さかなセンターの改善 ・やいちゃんを活用すべき ・地場産の魚を地元スーパーで売りたい ・漁業自体をもっとアピールすべき!! ・自然を活かしたイベントなどの企画(海・富士山) ・水産加工品の販売を促進したい |
| 環境 | ・海、川、山が汚い → ボランティアによる活動を啓発する → 釣り、山登りの愛好者を中心に、学校と連携して |
| 行政 | ・情報発信力の強化。タブレット配布等で気軽に見れる環境づくり ・若い世代でまちを盛り上げてゆく活動をしていきたいのでは? ・静岡から人を受け入れるための政策を強化(補助金や税の優遇) |



| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | |
|-------------------------|---|
| 子ども・若人 | ・子ども達が集中して学習することができる ・(学校)教育の環境が良くなって、子ども達の学校生活のストレスが軽減される ・若い人たちのサークルが増えていく ・子ども達が遊びやスポーツをのびのびできている ・市民が子どもを産みやすい環境になっている ・子どもの学力が向上している |
| 焼津市発祥 | ・伝統作業が見直されている。食されている ・焼津発祥のスポーツがある。大人から子どもまで楽しめる ・市民の大好きなソールフードがある |
| 観光 | ・観光客が買い物を楽しんでいる ・市の特産品をPRするアンテナショップが首都圏にあり、PRの効果が首都圏より特産品を味わう、買い物に来る市となっている ・観光客がレンタサイクルを利用して焼津市内の観光名所や史跡を巡ることができている ・やいちゃんがゆるきやらグランプリになっている |
| 高齢者・障がい者 | ・高齢者が安心して住みよいまちになっている ・高齢者がスムーズに移動できている ・高齢者の交通手段が増えて生活しやすくなっている ・車を持っていない市民(高齢者に限らず)が、病院や買い物に不自由なく行くことができている(乗り合いタクシー) ・市民とTAXI会社が連携して、高齢者が自由に買い物、通院等ができる交通システムが整っている市になっている ・障がい者が、地域で何でも相談、自立できるまちになっている ・高齢者がシルバー人材センターを通じていつまでも働ける市となっている ・高齢者が毎日地域の人たちとあいさつができて、健康を見守れる市となっている |
| 海・港 | ・泳げる海(浜)がある ・海がきれいでも魚も釣れるので、県内外より多くの釣り人が訪れる市となっている ・プレジャーボートが係留できる港となっている |
| 公共施設 | ・公共施設がまとまっていて利用しやすい ・焼津市民が(子どもも大人も)自由に利用できる施設がある ・公園が家族でにぎわっている |
| 市民意識 | ・他市民が焼津市に移り住んでいる ・市民がまちを住みやすくきれいにしようという意識が高まっている ・交通事故の少ないまち |

第6次焼津市総合計画策定市民会議 検討事項まとめ【5班】 1/2

| 未来予測(各データから見えてきたもの) | | 第1回市民会議(6/19) |
|---------------------|--|---|
| 機会(チャンス) | | 脅威(ピンチ) |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の改善で、働く女性にやさしい社会(長泉町) 静岡市のベッドタウンに特化 西焼津駅を焼津の中心に 児童数が減っている 手厚い授業が受けられる 児童に先生の目が行き届く 焼津市外から移住先として認知できる | <ul style="list-style-type: none"> 津波対策が明確でないため焼津の人口が減る 企業(雇用)の流出による人口の減 児童数が減っている 児童のがまんする力、協調する力が弱くなる 人口減少 出生者数 転入者数 |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 産業構造 第2次、第3次産業を増やす 光回線(専用線)増強による企業誘致 港周辺の観光地化(さかなセンター移転) 企業に魅力ある街づくりをする 港があり、おいしい魚を食べることができる 前期高齢者の雇用への期待 大きなショッピングセンターを作る | <ul style="list-style-type: none"> 漁業の衰退 観光客の誘致(焼津駅前の状況) 地元の商店がさびれてしまう バスの路線が少ない 旅行者は駅から動けない 高校生の遊ぶ場所がない(映画館など) 活気がなくなる 観光地が少ない(お客さんを連れていく場所が思いつかない) |
| 財政 | <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税は強い 子どもの病院代がかからない 不用施設等の統廃合の見直し 通勤で焼津に来る人が多い。焼津市内で買い物をする税収の増加 | <ul style="list-style-type: none"> 65歳未満の市民への税負担の増 都市の維持コスト増加(側溝清掃、川さらい等の地元作業ができなくなる) バスの路線が少ない(免許証を返納した後の移動が困る) 震災の対策 施設維持費の増 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> バスの利用者が減ると、自動車、自転車が売れる(?) 避難タワーが多い。有効利用できないか? 港町、歴史ある地区としての特色を生かせる | <ul style="list-style-type: none"> 自転車が車道を走ると危ない。自転車用の車道が少ない 焼津の駅前には駐車場しかない 地元住民とのトラブル、格差が出るかもしれない。防犯面で不安 ホームライナーの停車 津波のイメージはなかなか拭えない 駅前の整備 |

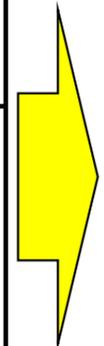


| まちづくりの課題 | | 第3回市民会議(7/31)、第4回市民会議(8/21) |
|------------------|---|---|
| 強み(良いところ、誇れるところ) | | 弱み(もっと改善したら良くなること) |
| ①地勢・自然 | <ul style="list-style-type: none"> 静岡市へのアクセスが良いので、静岡市と連携がとれる(70万人) 水道 防波堤の整備...釣り客倍増 富士山が見える 自然の多いまち 自然が豊富でめぐる土地柄 焼津市民が親切でやさしい人柄 | <ul style="list-style-type: none"> 災害(地震・津波)時に備えた整備 津波による沿岸部被災を想定した都市形成の対策が必要 津波対策が不十分である 避難タワー、ビル表示がない(349カ所) |
| ②土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> コンパクトな市域。さらに集約により都市の維持コストを落とせる(狭い町、山間部) | <ul style="list-style-type: none"> 観光客 遊ぶ所など、人が集まる場所がバラバラ(イオン・ディスカバリー・さかなセンター) |
| ③道路 | <ul style="list-style-type: none"> 充実した陸路、海路の利活用(大井川港、災害時、企業誘致) スマートインターにより第2・第3次産業の誘致 | <ul style="list-style-type: none"> 市民にやさしい自動車の整備(安全に!!) 公共交通機関の整備(バス・鉄道) 観光客 鉄道 焼津市へのアクセスが乏しい(転出が増加する可能性) 観光に来る 今は車のみ(東名) 駅前が静かすぎる(市の玄関口として) |
| ④産業 | <ul style="list-style-type: none"> アメーラトマト サクラエビ、シラス かつおぶし 漁業の知名度 ふるさと納税 自然産業の活性化 漁業のまちとして有名なので、それをもっとアピール 魚の町 ふるさと納税。税収アップ 漁業を中心とした魚関連 | <ul style="list-style-type: none"> 魚以外の何かがない 耕作放棄地が増える 技術、技能、伝統の継承が困難となる |
| ⑤人口 | <ul style="list-style-type: none"> 子供医療費無料 | <ul style="list-style-type: none"> 税収の減 地域間格差が出るかもしれない 税負担が増加 |
| ⑥市民意識 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が協力的 | <ul style="list-style-type: none"> ゴミの多さ(分別も含め) → 焼却コスト大 オリンピック選手(世界に名の通る)が焼津から出ない。スポーツが弱い |
| ⑦公共施設 行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの情報はしっかり知らされている 青峰プール、浜当目がある プラネタリアム(ディスカバリー) ディスカバリーパーク | <ul style="list-style-type: none"> 行政サービス情報が乏しく、また、利用できる施設が少ない(広報のみ) 大学が少ない(私立の学校) → 親の負担増 老人ホーム 公園の整備(トイレ清掃の徹底) 児童館を作ってほしい 精神的な理由で仕事ができなくなる人に、働く場所を選択する場を増やす 高校の特徴がない |
| ⑧治安 | | <ul style="list-style-type: none"> 地域の見守りをどうしていくか(孤独高齢者、登下校児童) |
| ⑨歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 焼津海上花火大会や港まつり、さばまつりなどがある お祭り(荒まつり) | <ul style="list-style-type: none"> 花火、まつり 地元民のみが参加(アクセス) |



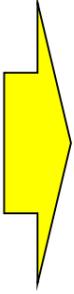
第6次焼津市総合計画策定市民会議 検討事項まとめ【5班】 2/2

| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|--|
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 老人ホームをつくる ポケ老人対策 → マイクロチップを使用する 児童館を作る(雨の為) 精神的な理由で仕事をできなくなる人に働く場の選択をする場を増やす ポケないための対策 農業の人、ニート等の人をいれる |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> 大井川港をフェリー発着港にする(静岡空港、スマートIC) 高草山のハイキングコース整備 → 登山道の拡幅 花沢の里など内陸部の観光整備 きれいな海、きれいな川を取り戻す。きれいな街も → どうすればいい? 港湾、突堤の整備 → 人が落ちないように転落防止 津波避難タワースタンプラリー 津波タワーイベントを考える 避難タワー、ビルの明記 <ul style="list-style-type: none"> …津波に強いまちづくり。観光客に安心と安全を 焼津だけの公園を作る アダプト(共存)・ビーチ、アダプト・リバー、アダプト・ロード <ul style="list-style-type: none"> …市域の主要河川等で組織化。市全体で行う 富士山の見える場所に“フィッシャーマンズワーフ”焼津(店 etc.)を計画する |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の防災意識の向上 高校、大学を作る(私立の学校) モンゴルとの連携 → オリンピック 国際交流 富士山の見える海の写生大会&掃除 高校の特徴 <ul style="list-style-type: none"> …オリンピック選手の育成 |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 市運営の観光バスを走らせる ポケモンスポット 魚とセットで酒(ビール・日本酒) → 売り込む 稚魚放流に力を入れる。資源育成 魚関連の連携強化 旧小川港を再開発する <ul style="list-style-type: none"> …マリンレジャー施設(ヨットハーバー、カヌー、カッター練習、遊漁船) スマートインターにより第2、第3次産業の誘致 ネット通販、物流産業の誘致 魚を使った商品の開発(焼津井とか) <ul style="list-style-type: none"> …ねり製品、サクラエビ、シラス、かつお、さば、マグロ、かつおぶし Planetaria × ディスカバリーパーク(アニメツアーリズム)の推進 避難タワーから花火(さじき席) 花火大会のバスを出す 祭りやイベントの参加促進 → HPで呼びかけ 富士山の見える場所に“フィッシャーマンズワーフ”焼津(店 etc.)を計画する |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> せっかくの海があまりきれいでない。川も汚い!? → ビーチクリーン、リバークリーンに取り組む 雑排水処理の取り組み <ul style="list-style-type: none"> …公共下水道への切替え促進 …単独浄化槽の完全廃止(合併槽移行への補助) …維持管理の継続 海、川、道路のゴミを清掃する活動 アダプト(共存)・ビーチ、アダプト・リバー、アダプト・ロード <ul style="list-style-type: none"> …市域の主要河川等で組織化。市全体で行う |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客を呼ぶための広報活動を充実させる Eye Sight等先進安全車への補助金 |

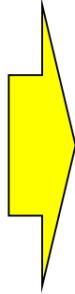


| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | |
|-------------------------|---|
| 地震・災害 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が災害の不安がなくなっている 避難タワーの場所がわかっている 避難タワーの利用が増えている 防災意識が高くなっている 市民が災害時に適切な対応ができるようになっている |
| 海 | <ul style="list-style-type: none"> 海が好きになっている 海が身近になっている 親子で釣りを楽しんでいる 西伊豆へ行く玄関になっている 焼津の港がにぎやかになっている 市民が自主的にまち(川・海)をきれいになっている |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が自主的にまち(川・海)をきれいになっている ポイ捨てがなくなっている 富士山の見える場所がきれいになっている |
| 観光 | <ul style="list-style-type: none"> 市民も観光客も安全で焼津に人々が集まるようになっている 外部からの花火、祭り等の参加者が増えている 観光客が増えている 観光客が増えている 焼津に人が集まっている |
| 焼津 | <ul style="list-style-type: none"> 焼津の知名度が上がっている |
| 健康 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が健康になっている 老人と子どもが元気になっている 楽に(安らかに)死んでいる 病院の利用が減っている |
| 子ども・老人 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが育てやすくなっている 学校が楽しくなっている お年寄りが安心して 介護が楽になっている 親が働いている間、子どもが安心・安全に過ごせる 子どもがスポーツを一生懸命やっている |
| 障がい者 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者への理解が進んでいる 障がい者が地域で相談、自立できるまちになっている |
| お金 | <ul style="list-style-type: none"> 収入が増えている ふるさと納税額が増えている |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> 住む人が増えている 人口が増えている |
| 交通 | <ul style="list-style-type: none"> 交通事故が減っている 市内の公共交通が充実している |
| 駅 | <ul style="list-style-type: none"> 駅前がにぎやかになっている ホームライナーが停車している |
| 仕事 | <ul style="list-style-type: none"> 焼津市が物流拠点になっている 雇用が増えている 皆が元気に働いている 失業者が少なくなっている |
| 交流 | <ul style="list-style-type: none"> 市民が交流する場が増えている モンゴル人(外国人)の友達ができている |

| 未来予測(各データから見てきたもの) | | 第1回市民会議(6/19) | |
|--------------------|--|--|--|
| 機会(チャンス) | | 脅威(ピンチ) | |
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・「元気な高齢者」の増加 ・観光施設や大規模店舗を増やすことで、住民の定着が期待できる ・東日本大震災後、転出者が大幅に増加したが、近年は震災前の数値より減少している ・高齢者と子育て世代が同居する世帯が増えれば、子どもを見守る人数が増え、子育ての負担が減る ・第1次産業を担っていく、大切に思っている若者世代が多い ・死亡率 現状の分析を徹底し、県内トップを目指すこと(チャンス)へつなげる(健康寿命全国1位へ) ・生徒数 きめ細かな教育や質の高い授業が可能となり、学力アップにつながる ・静岡市への通勤者多。ペットタウンとしてのニーズ ・人口減少 空き地、空家増加による再開発のチャンス ・空き家が増える 定住促進やイベントに活用できる | <ul style="list-style-type: none"> ・職場が焼津市内にあるのに藤枝に引越す人が多く、人口が藤枝へ流出している ・「晩婚化の傾向」→ 少子化につながっていく。学校の空き教室も増える ・死亡率 県平均や藤枝市より低く、人口減につながる ・1人暮らしの高齢者の増加 ・内陸部への人口の偏り ・生徒数 減少が著しく、廃校の恐れがある ・1人暮らしの高齢者の増加 ・市外に住んでいる家族が市内の親と同居や近くに引っ越してくる人が少ない。結婚を機に転出する女性が多い。若者世代が転出している ・大災害へのリスクを住民及び市民から取り除くことができるのか | |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・焼津 = 魚(漁業) 知名度 ・水産物が豊富 → さばやかつおぶしなどおいしい物がたくさんあるので、それらを生かした商品を消費者が求めやすい値段で販売していったらどうか。若い人に意見を求める(高校生など) ・ふるさと納税の増加。焼津のPRにつながっている ・技術の進歩 高齢者のインターネット環境への参加。WiFi環境の充実 ・求人企業の増加で職種も増え、やりたい仕事に近づける(人材適所) ・耕作放棄地の増加 → 新規就農のチャンス ・温暖化 付加価値のある果物の生産、ブランド化 ・食事、買い物、遊びに行く等、焼津でなく藤枝、静岡等市外に行ってしまうが、近くで済めばいいなあと思います(いいお店を知らない等の情報不足のためか…) ・商業施設の発展や充実により、若い世代が住み続けてくれる | <ul style="list-style-type: none"> ・地元のお店の減少 ・焼津 = 魚のイメージの固定化 ・人員が減り、1人1人の負担が増し、長続きしないのではないか ・空き家の動向 → 雇用の減少 ・温暖化 稲作における病害虫の発生 | |
| 財政 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なふるさと納税などの提供で、県外へ転出した住民にも貢献してもらえる ・保育所等による人員不足を高齢者で補充することができ、待機児童を減らすことができる ・医療施設を増やすことで、住民の安定した生活を保障できる | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通(バス路線)の減少 → 不便さ ・人口減少 単純に人口減少によるマイナス → 収入減、消費活動減 ・人口減少 = 消費が減ってしまい、税金の負担が増えたり、必要なものにお金をまわすことができなくなるのでは | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・「晩婚化の傾向」→ フルタイムで働ける人が多くなり、長く働けて収入が増える。一日が充実するようになる ・生活習慣病について 県内でも死亡者が多くなっているため、公民館や市のいろんな施設を使って運動や講義を進めて、食の教室もやっていたら、死亡者もへって行くのではないかと。その講義以外でも、その施設を利用する人が増えるのではないかと ・空き家が多くなり、公共施設を増やす事ができる(避難塔など) ・空き家の増加 = 必要としている人がいるかも…。アパートでは狭い、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・「待機児童が増えている」→ それぞれの企業に合った人材が埋もれているかもしれない。働きたくても働けない(保育所問題の解決へ) ・持ち主の管理が不届きになり、放置状態になるのではないかと(震災などでの崩壊) ・空き家が増える 防災や景観に悪影響を与える ・子らと同居する高齢者世帯よりひとりや夫婦のみで暮らす世帯が増えており、孤独死や高齢者を狙った犯罪が増える ・高齢者の為反応が鈍くなり、危険予知が十分でくず見落としが増えるのではないかと ・技術の進歩 高齢者への教育の難しさ、嫌悪感の除去 | |



| まちづくりの課題 | | 第3回市民会議(7/31)、第4回市民会議(8/21) | |
|------------------|---|--|--|
| 強み(良いところ、誇れるところ) | | 弱み(もっと改善したら良くなる) | |
| ①地勢・自然 | <ul style="list-style-type: none"> ・地形や立地の良さ (坂が無く平坦、海も山もある(景観)、交通網が充実(高速・JR)) ・海水浴ができる ・海岸線の景観 ・山や海があり自然豊かで住みやすい気候 ・恵まれた自然環境 ・自然豊か(たくさん、多い) ・山や海の自然景観 ・良い景観 ・自然(海、富士山) ・山や海、川があり自然豊かで景観が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・津波の心配 ・海岸の防災 ・津波の不安 ・津波対策 ・現状の津波対策に対しての不安 ・地震、津波等災害への不安 ・津波が来た時の避難所がわからない(情報不足) ・何をどうしていいかわからない ・行政の対策が市民にわかりづらい。浸透していない | |
| ②土地利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな(全国的な)企業の工場などが立地している ・地価が安い。固定資産税(土地) ・大きな(全国的な)企業の工場などが立地している | <ul style="list-style-type: none"> ・災害のリスクがあり企業が進出しにくい ・海側に工場を建てるリスクが高い ・日本坂トンネル | |
| ③道路 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心部は市外からの交通の便が良い ・新幹線駅から3駅 ・東名IC2か所 ・ラウンドアバウトなど事故を減らす対策を積極的に取り入れている | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の事故の増加 (代替交通手段、タクシーの補助) ・駅周辺の不便さ ・中学生の朝の登校の指導が必要 ・道が複雑。特に市外の人にはわかりづらい | |
| ④産業 | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの漁港 ・地場産品の豊富さ (魚介類、農産物) ・豊富な水産物・漁業 (さば、かつお、黒はんぺんなど) ・鮮度のある鮮魚 ・特産品が多くある ・水産物が美味 ・漁業 ・魚がおいしい ・高いブランド力のある焼津の魚・加工品 ・特徴的な産業(水産業)が盛ん(周辺市町との違いがある) ・魚がおいしい ・魚が新鮮でおいしい ・ブランド力の高い焼津のおいしい水産物 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗が多い ・商業が弱い ・雇用が少ない ・賃金が安い ・シャッター商店街の対策が必要 ・駅前(まちの顔)の廃れ ・近隣市と比べ店が少ない ・イベント(みなとマラソン・荒祭など)、有名な水産業、ホテル、食べ物おいしいが繋がらない ・イベントが少ない(新しいイベントが生まれていない) ・観光場所が無い ・シンボルが無い ・店が少ない | |
| ⑤人口 | <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上が増加 = まだまだ働けるのでは… ・医療と福祉(病院、看護学校、福祉大学) | <ul style="list-style-type: none"> ・人口の流出・児童数の減少 ・校舎の小型化による維持費の削減 ・若者世代の人口転出 ・若者世代の人口流出 ・雇用が少ない ・若者が魅力を感じる仕事が少ない ・住みたいまちになっていない(若者が) ・行政の子育て政策が伝わっていない ・待機児童 → 希望者の増加一方で保育所のキャパが増加できていない ・魚のにおいが、慣れていない市外の人には良く思われていない | |
| ⑥市民意識 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校「見守り隊」の方々の力(登下校の際) ・地域のつながりがある(親切な人が多い) | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが多い ・ポイ捨てが多い ・海岸のゴミ捨てマナーが悪い ・津波に対する不安への意識の差がある ・高齢者の生活(独立した生活に不便) ・障がい者に慣れていない。働く場所が少ない ・ゴミや汚れ(キレイにしてほしい要望が多い) ・海が汚い | |
| ⑦公共施設・行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・クラフト等アーティストが多い(趣味を含め主婦に多い) ・避難タワーの増加 ・安定・安全性の高い水道水(水道料金も安い) | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達のための遊び場(公園)の充実 ・水色の焼津自主運行バス ・災害対策や助成事業のPR不足 ・中心部以外は交通の便が悪い ・高校が少ない ・若者の流出 ・駅周辺の整備 ・活気が少ない駅周辺 ・商工会議所がイベント等に消極的 ・公園の設備が楽しくない(小さい公園) ・公園や遊び場の充実 ・子供が楽しめる施設が少ない | |
| ⑧治安 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全「見守り隊」 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加。治安の問題 | |
| ⑨歴史・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・荒祭等の歴史ある伝統文化 ・魚河岸シャツ 市民に浸透している(他のご当地シャツで「地元の人」に広まっているものは少ないのでは…?) | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化への注目度が低い(独自の歴史文化が不明確、周辺の市よりも活用できていない) ・重鎮が多すぎる(新しいものが生まれにくい) | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市との交流が高い | | |



| 課題を解決するための取組方法 第4回市民会議(8/21)、第5回市民会議(9/11) | |
|---|---|
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援・・・幼稚園の施設(利用していないところ)を保育施設として利用する 高齢者への制度が不明 → 情報が届くように 高齢者ボランティア活動の場作り 高齢者の活躍の場 → シルバー人材センター <ul style="list-style-type: none"> ・・・市民が利用しやすくする ・・・どんな仕事を頼めるのかPR |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設を焼津のPRの場にする(駅、市役所 etc.) <ul style="list-style-type: none"> ・・・景観の写真展 ・・・地場産品 津波に対する取り組みをアピール(個人や企業に) 耐震型マンションの誘致(自然を活かした土地利用) 廃校を津波避難所のために残す(??) 駅周辺に活気がない → 焼津の窓口になるような場所に 駅周辺の再開発 駅周辺の若者への対策 公共施設・・・子どもを遊びに連れていく時、焼津で遊ぶ事があまりない。ディスカバリーパークがあるが、イベント等もう少し楽しいのがあればいいと思う 津波の避難経路がほしい <ul style="list-style-type: none"> ・・・地元(住んでいる所)はどこに避難するかわかるが、他の場所だとわかりにくい。 例)浜通り 吉田・・・わかりやすい場所 相良・・・看板 災害対策 → ハード面の対策+ソフト面の対策を充実させる <ul style="list-style-type: none"> ・・・避難訓練、被災後の生活シミュレーション ・・・地域のつながりを再確認する |
| 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ディスカバリーパークの施設の存在 → 学べる機会を増やす 看護学校や福祉大学の存在 → 小中学生にも体験できる機会を 交通安全教室でのもっと具体的な指導 荒祭りの範囲の増加 |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 魚はおいしいけど、買ったり食べたりする機会が少ないので、地元の人に愛される(リピート)商品づくり、店づくりをすればいいと思います。消費者の意見をとり入れる等 交通の便の良さ(大井川IC)を利用した企業誘致 大きな会社、病院等は水道の使用量が多いので、水道料金が安いと企業等の誘致のPRになる 景観スポットづくり <ul style="list-style-type: none"> 例)回廊マップ、展示会 魚種に特化したPR <ul style="list-style-type: none"> 例)鯉三昧、鮪めぐり 特産品の再利用 港祭りのアピール 地域特産品が豊富。魚河岸シャツ関連の物 魚河岸シャツを全国区にPR 食べ物としてだけでなく「魚」を使ったまちづくり 魚をイメージした施設、イベント <ul style="list-style-type: none"> ・・・魚釣りの体験、食べ比べ出来る飲食店街、公園 一店逸品運動の促進、PR 「シンボルがない」「焼津ならではの」観光スポットが少ない <ul style="list-style-type: none"> → 体験型の観光プランを提案する(漁港見学ツアー、深海魚の漁体験等) 焼津市民が地元の店や焼津の名所を利用しやすいようなイベントをする(PRする) |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> 海水浴場の増加 高草山PR(ハイキングコースなど) 海岸清掃(ボランティア、市民協働) 港周辺のゴミ対策・・・港に来る人たちの意識を高める |
| 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や地元企業(スーパー、銀行)に子育て、防災のPR 独身者への婚活イベント |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 重鎮が多い、しがらみが多い → 重鎮を味方につける。(トップダウン式、ツルの一声) |



| 理想的な状態 第5回市民会議(9/11) | |
|-------------------------------------|--|
| おいしい食(魚) | <ul style="list-style-type: none"> 焼津の特産物を食べている おいしい魚が毎日食卓に上っている 近所でおいしい魚を食べられる、おすすめしたくなる店がある 市民がおいしい魚や店を知っている |
| 健康に暮らす | <ul style="list-style-type: none"> 病院の利用が減っている |
| 高齢者 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が元気に活動している 高齢者が元気に生活している(交通、食、居住) |
| きれいなまち | <ul style="list-style-type: none"> ゴミがなくなり市民が住みやすいキレイなまちになっている 焼津の海からゴミがなくなる 海辺で子どもが遊んでいる |
| 楽しみがある 利便性がある 癒しのある 駅周辺の活気 | <ul style="list-style-type: none"> 駅に活気がある 駅前が買い物客であふれている 市外の人達が駅に訪れて駅周辺に活気があるようになっている 駅前が開発され、8時過ぎに駅に着いても食事が出てくる |
| みんなが一緒に暮らす 人々に壁がない | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者が地域の一員として生活している |
| 魅力いっぱい にぎわい観光 焼津自慢 | <ul style="list-style-type: none"> 観光地が出て、来客者を楽しませることができる 観光地(施設)に来た人が「いい所だね」と楽しい気分で帰ることができる 毎週末市内どこかでイベントがある イベント会場がにぎわっている |
| 子どもが楽しく豊かに 育つ | <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が遊びながら楽しく学んでいる。成績もUPしている 子どもが公園の遊具を使って楽しく遊んでいる。笑顔がいっぱいになっている |
| 子どもが焼津の食や 文化に親しんでいる | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが魚と慣れ親しんで楽しんでいる 市内の高校生(小・中学生)に魚河岸シャツなどの(小物の)デザインを考えてもらい、いいものを採用する。販売もする |
| 魚河岸シャツが 旗印になる | <ul style="list-style-type: none"> 魚河岸シャツが全国的に有名な「焼津ファッション」になっている |
| 漁業が盛ん 海のにぎわい | <ul style="list-style-type: none"> 港が漁船でいっぱいになっている 海岸がにぎわっている 浜がにぎわっている |
| 市民が災害に 対応できる | <ul style="list-style-type: none"> 市民が津波の避難方法を知っている 市民全員が地域の災害対策の「プロ」になっている 市民が災害が起きても適切な行動ができるようになっている 海が近くても市民が安心して暮らしている 避難タワーがなくなる 世代間がなく、近所が楽しく付き合いが出来る |
| 楽しく子育て | <ul style="list-style-type: none"> 親子が手をつないで笑い合っている |
| 「住みやすいまち」PR | <ul style="list-style-type: none"> 市民が知人に焼津へ移住をすすめている |
| 市の情報を市民と 行政がシェアできる | <ul style="list-style-type: none"> 市民が行政の取り組みを知っている 世代間がなく、近所が楽しく付き合いが出来る |
| 企業の進出 | <ul style="list-style-type: none"> 企業が多くきて、財政がうるおっている 企業が進出して雇用が増加している 産業がさかん 仕事に誇りをもっている 後継者も育っている |